

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 5 日作成)

委員会名	強震観測小委員会	主 査 名：片岡俊一
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：篠崎祐三
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>各機関・各地域で実施されている地盤および建物の強震観測体制および強震動データの保管・公開状況を把握し、各組織の強震動に関連する情報の交換を行う。</p> <p>2003 年度：情報交換および研究成果の審議</p> <p>2004 年度：シンポジウム開催に向けて、これまでの成果の整理</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査：片岡俊一(弘前大学)</p> <p>幹事：佐藤吉之(竹中工務店)・山村一繁(都立大学)</p> <p>委員：青井 真(防災科研)・鏡味洋史(北海道大学)・鹿嶋俊英(建築研究所)・北川良和(慶応義塾大学)・工藤一嘉(東大地震研)・高橋克也(鹿島建設)・中村 充(大林組)・福和伸夫(名古屋大学)・堀家正則(大阪工大)・元木健太郎(東京工業大学)・源栄正人(東北大学)・吉村智昭(大成建設)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p><b>共同観測・記録評価推進WG</b>：建築会館および静岡地区における共同強震観測を推進し、特に静岡地区で観測された記録を中心にその記録の評価を行う。</p> <p><b>次世代システム検討WG</b>：今後の強震計(地震計)、データベースシステム、インターネット技術の利用など強震観測に関連する技術の調査を行い将来のあり方を考えるとともに、昨年度活動報告書の具体的実施内容の検討を行う。</p>	
2003 年度予算	320,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	6 月 13 日・11 名, 10 月 10 日・9 名, 12 月 19 日・8 名, 3 月 5 日・8 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2003 年度に発生した被害地震に関連して、各機関・各地域で実施されている強震観測の状況を把握した。</li> <li>● 上述の被害地震に関連し、強震観測に関連する研究成果速報を討議した。各委員の研究成果は、大会において報告される予定。</li> <li>● 建築会館における強震観測記録を比較検討した。</li> <li>● 静岡地域における共同観測記録を用いたサイト特性評価を行った。その成果は、大会で報告される予定。</li> <li>● 建築物に強震計を設置する方策について検討した。</li> </ul> <p>上記の成果を 2004 年度に開催予定のシンポジウムの骨子とする。</p> <p>建築会館における強震観測結果を建築雑誌に報告した。またそこで紹介した記録を委員会ホームページで公開する予定にしている。</p> <p>委員会 HP アドレス：<a href="http://www.eqgmo.aij.arch.metro-u.ac.jp/eqgmo/">http://www.eqgmo.aij.arch.metro-u.ac.jp/eqgmo/</a></p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初計画のとおり
その他評価すべき事項	